

物件調書

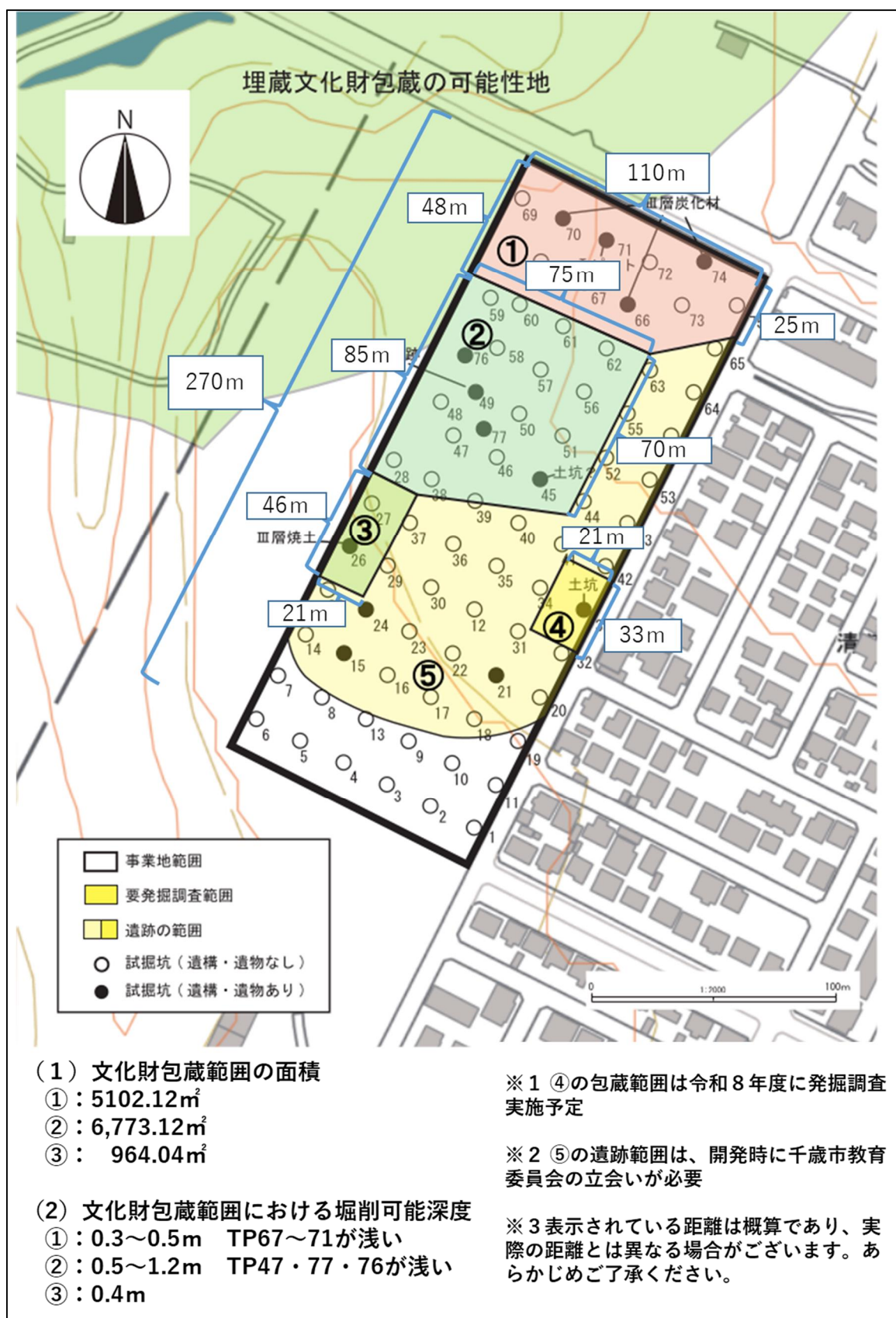
名称	根志越第六地区
所在地	千歳市根志越の一部（根志越５８５番１・２・３、５８６番２・３）
面積	２９，６４５㎡
物件概要	当該地区は、ＪＲ千歳駅から北方約２．４キロメートルに位置しており、都市計画道路「２８号通」に接した市が所有する土地（埋蔵文化財包蔵地を含む）。 ※案内図参照。
都市計画による制限	区域区分：市街化区域 用途地域：準工業地域（２８号通沿道）及び第一種住居地域 地区計画：根志越第５地区 公 園：あずさ９号公園
想定する土地利用	(1) 若年層や子育て世帯向けの住宅地整備のほか、民間賃貸住宅、商業施設などの収益施設、周辺地域の活性化や賑わい創出等に資する事業であること (2) 近隣の住環境や自然の景観等を損なわない事業であること (3) 周辺環境への影響を鑑み、太陽光発電施設整備などの事業ではないこと
備考	(1) 当地は、面積の大半を「トメト川６遺跡」に指定されている。 ※ 包蔵地の情報は千歳市公式ホームページから、「千歳市埋蔵文化財包蔵地-Google マイマップ」リンクから確認できます。 (2) 別紙「埋蔵文化財包蔵の可能性地」に示す①～③の範囲については、文化財包蔵地のまま、売却する想定としている。 ※ 別紙試掘調査結果参照 (3) ①～③の範囲については、発掘調査を伴わない土地の利活用の検討を前提とし、土地購入者においても、それぞれ指定した掘削可能深度の範囲において、土地の活用を検討するものとする。 なお、土地購入者が、発掘調査を行った上での開発を想定する場合は、購入者が一括して発掘調査を行うものとする。※開発の前には北海道教育委員会との事前協議が必要となります。 (4) 当地においては、全ての区域（公園用地や区画道路含む）を含み、許容放流量以下となるよう自然放流方式の雨水調整池を造成する必要がある。（雨水の許容放流量（ m^3/s ）：面積（ ha ） $\times 0.470$ （ $\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$ ） $\times 1/100$ ） ※ 参考（２８号通沿道地点） ・ 浸透係数 $K = 7.78 \times 10^{-2} \text{ cm/sec}$

	・ボーリング結果は別紙「ボーリング柱状図」参照 (5) 埋蔵文化財の包蔵を想定していない土地利用計画として、土地利用計画（案）を参照すること。 (6) 当地においては、都市計画決定した街区公園「あずさ9号公園（約0.15ha）」を整備する必要がある。（別添「公園の求積図」参照） ●公園とする用地は、売却面積から除いた上で、市が整備する予定であり、公園の場所については、都市計画決定した場所とするものの、開発計画の検討においてやむを得ない場合は、場所を変更する可能性はあるものとする。 (7) 都市計画道路「28号通」は、装軌車が通行する道路であり、開発にあたり緩衝地帯と住居の用に供する土地との間に、28号通に平行した区画道路を配置するよう努める必要がある。 そのことから、 ●道路境界から40mは緩衝地帯とし、緩衝地帯のうち、最低15mは緑地として整備する必要があることから、28号通に平行した区画道路に隣接する面積を緑地とし、売却面積から除いた上で、市が整備する予定。 ●28号通に平行した区画道路についても売却面積から除いた上で、市が整備する予定。 ※●は最終的に市有地となる予定。
--	--

【案内図】



【埋蔵文化財包蔵の可能性地】



【試掘調査結果】

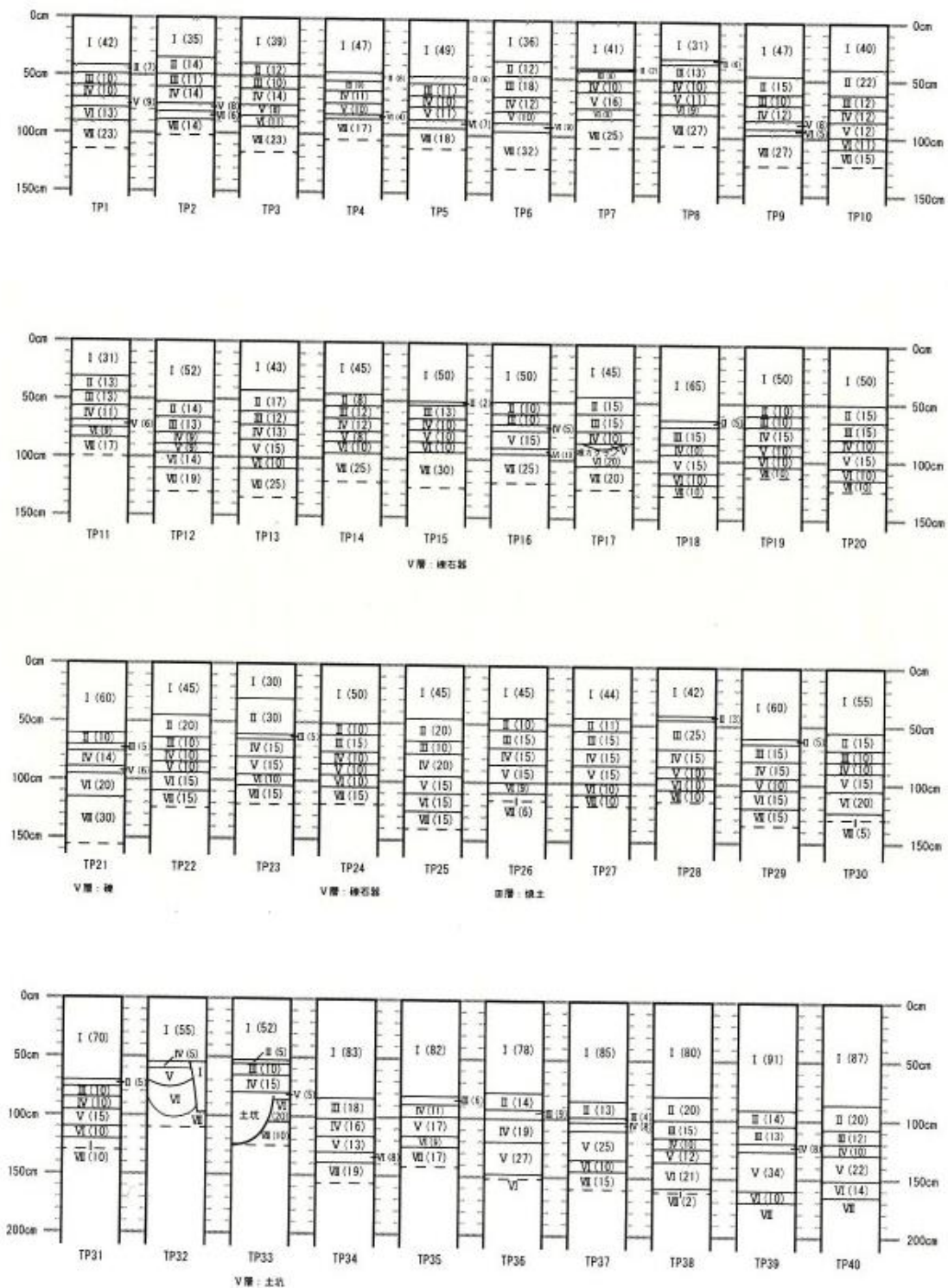
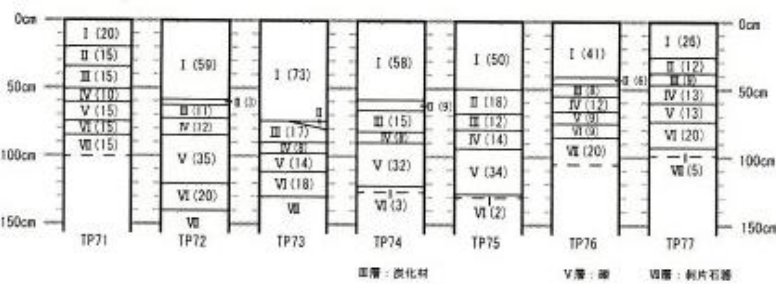
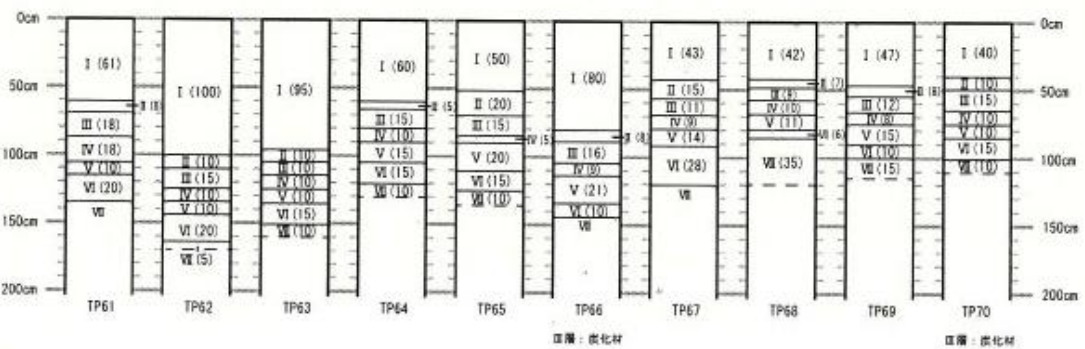
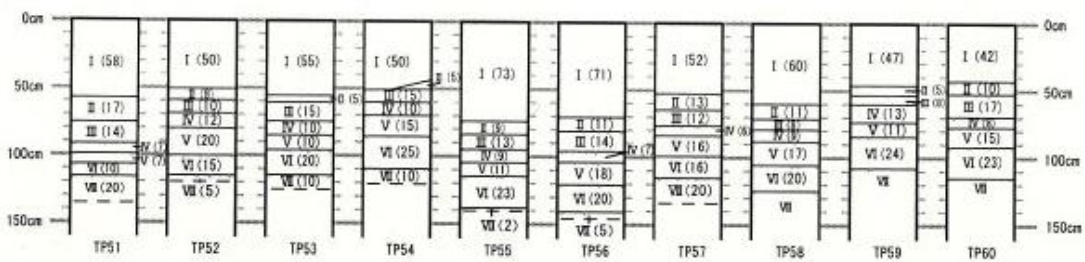
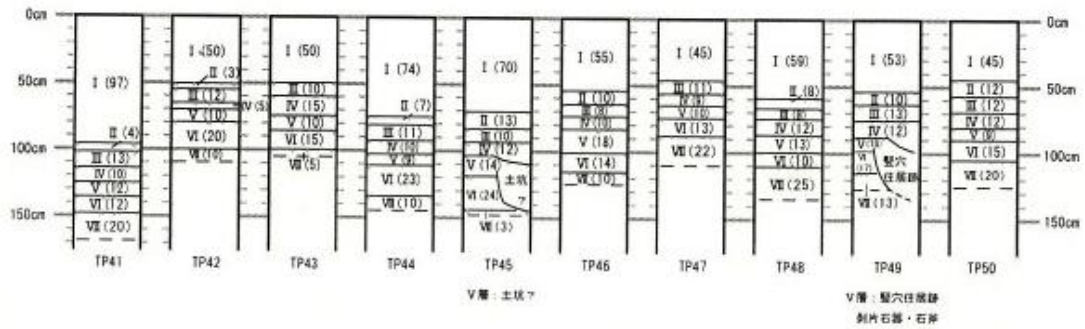


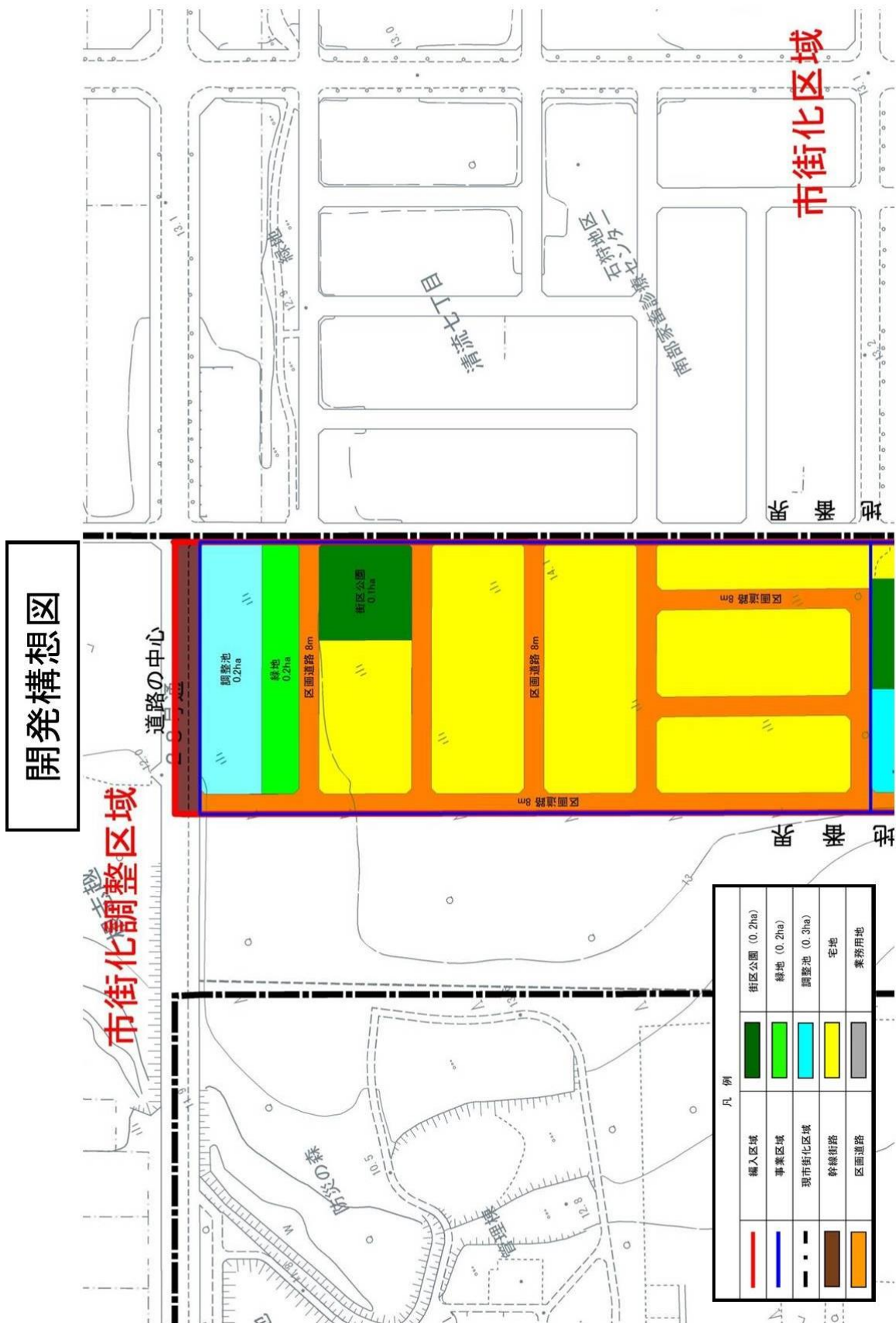
図3 土層柱状図(1)



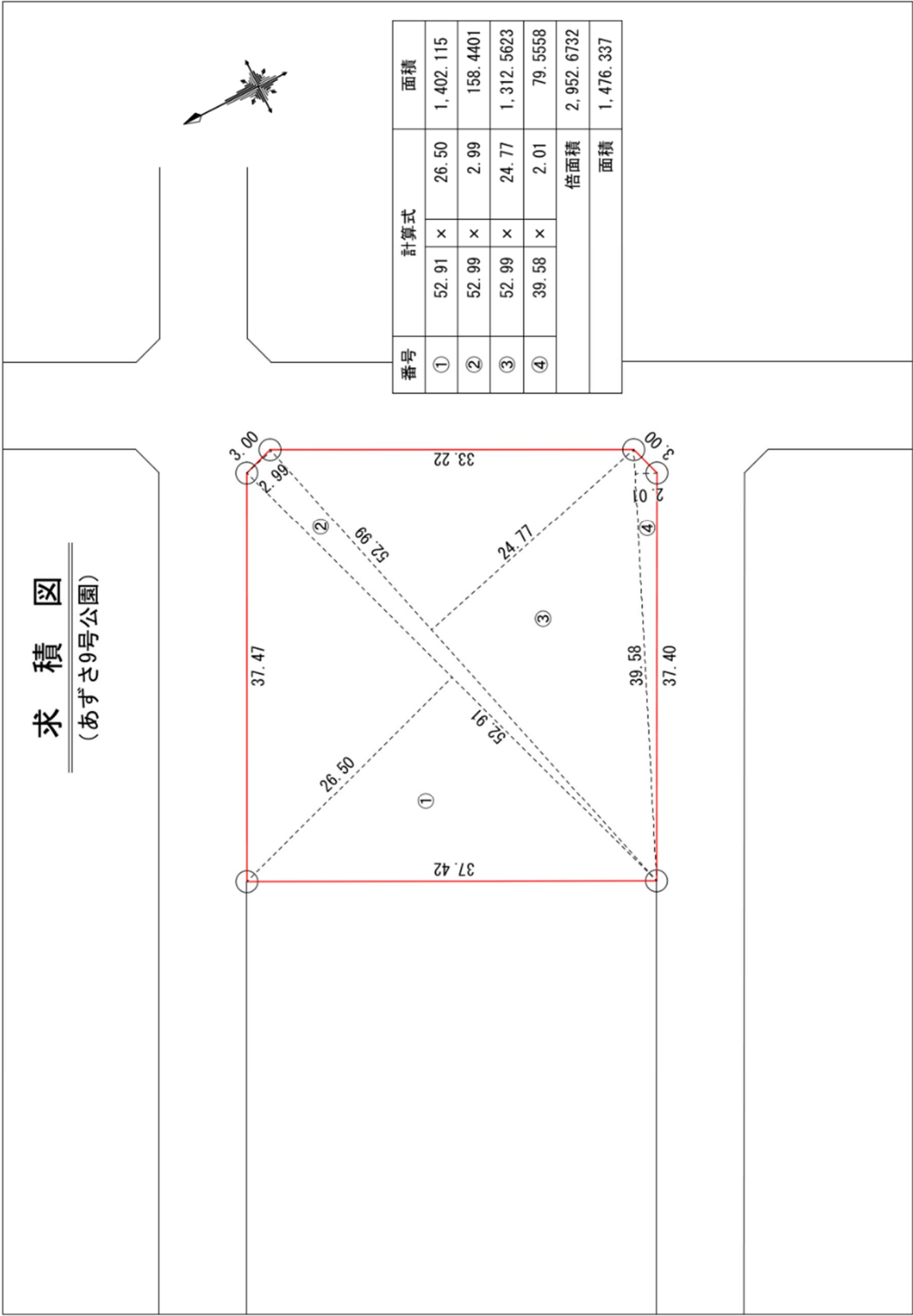
I: 表
II: Ta-a
III: IB
IV: Ta-c
V: IB
Ta-d: Ta-d
3黒: III B
VI: 漸またはゼン
VII: En-a □

図4 土層柱状図(2)

【土地利用計画（案）】



【公園の求積図】



ボーリング柱状図

ボーリングNo	6	4	4	1	2	5	1	2	0	0	1
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

シート No 001

ボーリング名	R5-B-1号孔		調査位置	千歳市根志越地内(計画調整池箇所)					北緯	42° 50' 52.90"		
発注機関	千歳市企画部まちづくり推進課				調査期間	令和5年12月4日～5年12月4日				東経	141° 39' 21.57"	
調査業者名	株式会社シン技術コンサル 電話(011-859-2600)		主任技師	紙本和尚	現代場人	石川 岬	コ鑑定者	紙本和尚	ボーリング責任者	山本 純		
孔口標高	12.89m	角			地盤勾配	鉛垂線	水平	使用機種	試錐機	利根製TEC-1	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	10.50m	度			鉛垂線	水平	使用機種	エンジン	ヤンマーNF12	ポンプ	ー	

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色相対対密稠度	相対対密稠度	記述	標準貫入試験						原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度 試験番号	採取方法	室内試験 (目録参照)
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／ 貫入量 (cm)	N 値				
										0	10	20						
1	12.85	0.26	9.25	火山灰質粗砂	表土	暗灰		粗粒火山灰主体、草根、軽石混入。非常に緩い粗砂主体で全体に火山灰混入。φ5mm程度の軽石混入。	12.85	1	1	1	3/30	3				
2	11.7	0.35	1.15	腐植土	黒褐色			非常に軟らかく、腐植土主体。未分解で含水率高、不均質。	1.15	1	1	1	3/30	3				
3	11.06	0.63	1.86	火山灰質シルト	褐			非常に軟らかく、シルト主体で火山灰混入。低含水、粘性小さい。	1.86	1	2	2	5/30	5				
4	8.85	2.26	4.00	軽石	淡褐色	非常に緩い		φ2~20mm程度の軽石主体。粗粒火山灰が混入している。低含水、非常に不均質な土層。深度1.80~2.90m：部分的に腐植物混入。	2.26	1	1	1	3/30	3				
5	7.75	1.10	5.15	火山灰質シルト	褐色	非常に軟らかく		非常に軟らかく、シルト主体で全体に火山灰を混入している。含水中位、粘性中位である。非常に不均質な土層である。	4.15	1	1	1	3/30	3				
6	6.09	1.70	6.80	火山灰質粗砂	淡褐色	緩い・中位		やや緩い粗砂主体で全体に火山灰を混入している。高含水、全的に均一な土層である。部分的にφ10mm程度の軽石を混入している。深度6.00~6.80m：火山灰多量混入。	6.15	3	3	4	10/30	10				
7				軽石混じり火山灰	暗灰・淡褐色	非常に緩い・緩い		非常に緩い粗粒火山灰主体である。φ2~20mm程度の軽石を全体に混入している。高含水、非常に不均一な土層である。深度7.00~7.50m：φ20mm程度の軽石多量混入。深度9.00~9.50m：高含水、非常に緩い。深度9.20~10.50m：φ10~20mmの軽石多量混入（淡桃色）。	7.15	1	2	2	5/30	5				
8									7.45	1	1	1	3/30	3				
9									8.15	1	1	1	3/30	3				
10	2.35	3.70	10.5						8.45	1	1	1	3/30	3				
11									9.15	1	1	1	3/30	3				
									9.45	1	1	1	3/30	3				
									10.15	2	2	3	7/30	7				
									10.45									